

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成23年11月14日

**【四半期会計期間】** 第43期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

**【会社名】** ファナック株式会社

**【英訳名】** F A N U C C O R P O R A T I O N

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 稲葉 善治

**【本店の所在の場所】** 山梨県南都留郡忍野村忍草字古馬場3580番地

**【電話番号】** 0555-84-5555

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 小俣 堅右

**【最寄りの連絡場所】** 山梨県南都留郡忍野村忍草字古馬場3580番地

**【電話番号】** 0555-84-5555

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 小俣 堅右

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		平成22年 第2四半期 連結累計期間	平成23年 第2四半期 連結累計期間	平成22年度
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(百万円)	209,278	266,414	446,201
経常利益	(百万円)	90,807	119,538	195,434
四半期(当期)純利益	(百万円)	55,822	74,222	120,155
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	38,870	54,026	107,216
純資産額	(百万円)	843,277	928,951	894,494
総資産額	(百万円)	948,342	1,059,578	1,013,000
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	285.12	379.18	613.75
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	88.6	87.3	87.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	51,479	64,559	122,338
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	3,305	18,134	6,816
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	8,624	19,631	25,759
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	530,612	595,591	583,486

回次		平成22年 第2四半期 連結会計期間	平成23年 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	158.67	202.03

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 平成22年第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

該当事項はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績

当第2四半期累計期間における当社グループをめぐり経営環境は、中国を中心に、韓国、台湾、インドなどを含むアジア地域の市場では好調が続き、欧米においても回復が進みました。また、国内市場は、東日本大震災の影響を受けながらも、輸出を中心に持ち直してまいりました。

このような状況のなか、当社グループでは、過去最高水準の受注、生産、売上が続きました。

製造におきましては、生産能力の大幅な増強を図るべく、生産の自動化を強力に推し進めました。また、研究所の総力を挙げて、知能化・超精密化を図った研究開発を推し進め、商品の競争力の強化に努めました。コスト、経費の節約も、引き続き徹底して行いました。

当第2四半期累計期間における連結売上高は2,664億14百万円（前年同期比27.3%増）、連結経常利益は1,195億38百万円（前年同期比31.6%増）、連結四半期純利益は742億22百万円（前年同期比33.0%増）と、いずれも半期ベースで過去最高となりました。

なお、当社グループは、CNCシステムとその応用商品を提供する企業グループとして、単一セグメントの事業を営んでおりますが、部門別の連結売上高につきましては、FA部門が1,422億22百万円、ロボット部門が529億87百万円、ロボマシン部門が712億5百万円でした。

#### (2) 財政状態

資産合計は、前年度末比465億78百万円増の1兆595億78百万円となりました。主な増加は有形固定資産が144億53百万円、棚卸資産が138億47百万円、現金及び預金が120億93百万円、主な減少は無形固定資産28億4百万円となっております。

また、負債合計は、前年度末比121億21百万円増の1,306億27百万円となりました。

純資産合計は、主に利益剰余金の増加により、前年度末比344億57百万円増の9,289億51百万円となりました。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローは、以下に述べるキャッシュ・フローの増減に為替換算差額121億28百万円を減算し、前年同四半期比151億17百万円減の146億66百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期累計期間末残高は5,955億91百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期比130億80百万円増の645億59百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の増加が、売上債権、棚卸資産及び法人税等の支払額の増加を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー -)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期比148億29百万円増の181億34百万円であり、これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー -)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期比110億7百万円増の196億31百万円であり、これは主に配当金の支払が増加したことによるものです。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は93億65百万円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000,000
計	400,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	239,508,317	239,508,317	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株
計	239,508,317	239,508,317		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		239,508,317		69,014		96,057

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ファナック株式会社	山梨県南都留郡忍野村忍草字古馬場3580番地	43,770	18.27
ステート ストリート バンク ア ンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京 支店)	米国・ボストン (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	14,739	6.15
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	14,025	5.86
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	13,155	5.49
ステート ストリート バンク ア ンド トラスト カンパニー 505223(常任代理人 株式会社み ずほコーポレート銀行決済営業 部)	米国・ボストン (東京都中央区月島4丁目16番13号)	6,174	2.58
エスエスピーティー オーデー 05 オムニバス アカウント ト リーティー クライアント(常任 代理人 香港上海銀行東京支店)	オーストラリア・シドニー (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	4,383	1.83
メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ ク ライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション (常任代理人 株式会社みずほ コーポレート銀行決済営業部)	米国・ボストン (東京都中央区月島4丁目16番13号)	3,223	1.35
資産管理サービス信託銀行株式 会社(証券投資信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番12号	2,833	1.18
ユービーエス セキュリティーズ エルエルシー エイチエフエス カスタマー セグリゲイテッド アカウント(常任代理人 シティ バンク銀行株式会社)	米国・スタンフォード (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	2,569	1.07
ステート ストリート バンク ア ンド トラスト カンパニー 505225(常任代理人 株式会社み ずほコーポレート銀行決済営業 部)	米国・ボストン (東京都中央区月島4丁目16番13号)	2,441	1.02
計		107,312	44.80

(注) 三井住友トラスト・ホールディングス株式会社から平成23年9月22日付で大量保有報告書(変更報告書)の提出があり、平成23年9月15日現在で以下の株式を共同保有している旨の報告を受けておりますが、当社としては実質所有株式数の確認ができません。その大量保有報告書(変更報告書)の内容は次のとおりです。

大量保有者(共同保有者) 住友信託銀行株式会社及び共同保有者3社  
 保有株式数 12,250,700株  
 発行済株式総数に対する保有割合 5.11%

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 43,785,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 194,699,300	1,946,993	
単元未満株式	普通株式 1,023,217		
発行済株式総数	239,508,317		
総株主の議決権		1,946,993	

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ファナック株式会社	山梨県南都留郡忍野村忍 草字古馬場3580番地	43,769,600		43,769,600	18.27
(相互保有株式) ファナックマグトロニク ス株式会社	神奈川県座間市東原4丁 目2番2号	16,200		16,200	0.01
計		43,785,800		43,785,800	18.28

(注) 株主名簿上当社名義となっている株式のうち、当社が実質的に所有していない株式はありません。

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
専務取締役	F A 担当	常務取締役	F A ハード研究統括	鞍掛 三津雄	平成23年7月1日
専務取締役	ロボマシン事業部長 ロボマシン販売本部長	常務取締役	F A サーボ研究統括 ロボマシン研究統括	内田 裕之	平成23年7月1日
専務取締役	中国・インド・韓国・ 台湾・インドネシア・ シンガポール・ベトナム・ タイ・フィリピン ・ロシア F A 販売本部長	常務取締役	インド・韓国・台湾 F A 販売本部受皿本部長	小針 克夫	平成23年8月26日
専務取締役	サーボ研究担当	常務取締役	サーボ研究担当	松原 俊介	平成23年9月28日



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	583,520	595,613
受取手形及び売掛金	79,281	83,995
商品及び製品	31,718	36,626
仕掛品	32,162	36,703
原材料及び貯蔵品	7,541	11,939
繰延税金資産	15,761	16,943
その他	5,758	6,422
貸倒引当金	1,749	1,771
流動資産合計	753,992	786,470
固定資産		
有形固定資産		
土地	114,910	114,069
その他(純額)	92,145	107,439
有形固定資産合計	207,055	221,508
無形固定資産		
のれん	16,988	14,266
その他	520	438
無形固定資産合計	17,508	14,704
投資その他の資産		
投資有価証券	26,270	28,027
その他	8,826	9,521
貸倒引当金	651	652
投資その他の資産合計	34,445	36,896
固定資産合計	259,008	273,108
資産合計	1,013,000	1,059,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,468	24,978
未払法人税等	42,168	43,340
アフターサービス引当金	4,123	4,402
その他	21,830	28,749
流動負債合計	89,589	101,469
固定負債		
退職給付引当金	25,219	25,805
その他	3,698	3,353
固定負債合計	28,917	29,158
負債合計	118,506	130,627
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,261	96,264
利益剰余金	1,082,997	1,137,997
自己株式	311,094	311,260
株主資本合計	937,178	992,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,349	1,223
為替換算調整勘定	48,723	67,728
その他の包括利益累計額合計	46,374	66,505
少数株主持分	3,690	3,441
純資産合計	894,494	928,951
負債純資産合計	1,013,000	1,059,578

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	209,278	266,414
売上原価	96,646	123,340
売上総利益	112,632	143,074
販売費及び一般管理費	23,569	26,506
営業利益	89,063	116,568
営業外収益		
受取利息	725	991
受取配当金	355	395
持分法による投資利益	1,552	1,954
雑収入	707	983
営業外収益合計	3,339	4,323
営業外費用		
投資有価証券評価損	530	-
為替差損	465	1,059
雑支出	600	294
営業外費用合計	1,595	1,353
経常利益	90,807	119,538
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,939	-
特別損失合計	1,939	-
税金等調整前四半期純利益	88,868	119,538
法人税、住民税及び事業税	36,680	47,838
法人税等調整額	3,928	2,861
法人税等合計	32,752	44,977
少数株主損益調整前四半期純利益	56,116	74,561
少数株主利益	294	339
四半期純利益	55,822	74,222

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,116	74,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	867	1,126
為替換算調整勘定	16,039	19,567
持分法適用会社に対する持分相当額	340	158
その他の包括利益合計	17,246	20,535
四半期包括利益	38,870	54,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,848	54,091
少数株主に係る四半期包括利益	22	65

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	88,868	119,538
減価償却費	6,133	6,268
貸倒引当金の増減額（は減少）	303	123
退職給付引当金の増減額（は減少）	1,749	880
受取利息及び受取配当金	1,080	1,386
持分法による投資損益（は益）	1,552	1,954
売上債権の増減額（は増加）	19,010	6,746
たな卸資産の増減額（は増加）	14,782	18,373
仕入債務の増減額（は減少）	4,219	5,892
その他	1,466	2,904
小計	63,382	107,146
利息及び配当金の受取額	1,927	2,888
法人税等の支払額	14,224	46,034
その他	394	559
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,479	64,559
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,066	18,143
子会社株式の取得による支出	1,360	-
その他	121	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,305	18,134
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	139	163
配当金の支払額	8,456	19,285
その他	29	183
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,624	19,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,767	12,128
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	29,783	14,666
現金及び現金同等物の期首残高	499,140	583,486
連結子会社の非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加	1,689	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	2,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	530,612	595,591

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	第1四半期連結会計期間末より、四半期純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性がない、ファナックサービス株式会社を連結の範囲から除外しております。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
1 保証債務は、従業員住宅ローンに対する債務保証で211百万円であります。	1 保証債務は、従業員住宅ローンに対する債務保証で189百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
1 販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次のとおりであります。 従業員給料及び手当 7,099百万円	1 販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次のとおりであります 従業員給料及び手当 7,382百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 530,773百万円 預入期間が3か月超の定期預金 161百万円 現金及び現金同等物 530,612百万円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 595,613百万円 預入期間が3か月超の定期預金 22百万円 現金及び現金同等物 595,591百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	8,446	43.14	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年10月27日 取締役会	普通株式	16,747	85.54	平成22年9月30日	平成22年12月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	19,299	98.59	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月25日 取締役会	普通株式	22,267	113.76	平成23年9月30日	平成23年12月1日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)及び

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社グループは、ファクトリーオートメーション(F A)の総合的なサプライヤーとして、自動化による生産システムに使用されるCNCシステムとCNCシステムの技術をベースとしたその応用商品の開発、製造、販売を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。

当社グループでは、すべての商品に、CNC、サーボモータが使用されていることから、投資の意思決定は、特定の商品の状況だけでなく、すべての商品の受注・売上、製造の状況により判断しております。

このように、当社グループにおいては投資の意思決定を全体で実施し、事業セグメントは単一であるためセグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	285円12銭	379円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	55,822	74,222
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	55,822	74,222
普通株式の期中平均株式数(千株)	195,785	195,744

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成23年上期(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の配当については、平成23年10月25日開催の取締役会において、平成23年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり上期配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 22,267百万円

1株当たりの金額 113円76銭

支払い請求権の効力発生日及び支払開始日 平成23年12月1日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月14日

ファナック株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 百 井 俊 次 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 腰 原 茂 弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているファナック株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ファナック株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。